



# D3Worker 操作マニュアル 別冊（WebAPI 編）

Ver.1.2

## 改訂履歴

---

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/05/10	新規発行
1.1	2019/09/25	新規 API「ワークの検査」を追加
1.2	2022/12/15	「7. 非 multipart での実行要求」の「aid」パラメータ名の修正

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。

なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の表記

---

本書では、次の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作するうえで知っているると便利なポイントについて記載しています。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

---

<b>WebAPI について.....</b>	<b>5</b>
1. はじめに.....	5
2. 認証トークンの取得.....	6
3. ログイン.....	7
4. ログアウト.....	9
5. ワーク情報の取得.....	10
6. ワークの検査.....	12
7. 非 multipart での実行要求.....	14
8. multipart での実行要求.....	17
9. ワーク実行履歴の取得.....	20
10. エンベロープ履歴の取得.....	24
11. 履歴の検索画面の表示.....	29

# WebAPI について

D3Worker が提供している WebAPI（エンドポイントや認証の方法、リクエストパラメータ、レスポンス）について説明します。

## 1. はじめに

本書をご利用いただく前に、本書で記載している用語と、リクエスト時の設定について説明します。

### ■ テナント

本書で記載している{tenant}は「お客様用テナント」を示しています。

#### Point

- 「お客様用テナント」とは、お客様ごとに当社が提供する D3Worker の環境です。「お客様用テナント」には、英数字・記号（アンダーバー）が設定されています。
- D3Worker をご利用いただくには、当社へのお申し込みが必要です。

### ■ 「multipart での実行要求」以外のリクエスト

パラメータのエンコードとコンテンツタイプは次のとおり設定します。

#### Point

- パラメータのエンコードは UTF-8 です。
- リクエストのコンテンツタイプに、「application/x-www-form-urlencoded」を設定します。

### ■ UID と UPW

本書で記載している UID と UPW は、D3Worker の環境をご利用する際に指定する認証情報を示しています。当社が発行する OPROARTS 認証情報に記載されています。

#### Point

- OPROARTS 認証情報は、契約時に当社が発行し、メールにて送付したテキストファイルをご確認ください。

```
OPROARTS認証情報 2019/02/12 株式会社オプロ
株式会社オプロ
【認証情報】
CID:XXXXXXXXXXXXXXXXXX
◎D3Worker認証用
UID:XXXXXXXXXXXXXXXXX  UPW:XXXXXXXXXX
以上
```

## 2. 認証トークンの取得

UID/UPW が正しいかどうか確認し、その結果を示す期限付きのトークンを返します。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/auth

### リクエストヘッダ

特になし。

#### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### UID

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UID を指定する。

#### UPW

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UPW を指定する。

#### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。
- UIDとUPWについては「1 はじめに」を参照してください。

### ■ レスポンス

- UID/UPW が正しい場合

ステータスコード：「200」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
auth	文字列	「トークン」 X-OPRO-D3W-Auth レスポンスヘッダでも同じトークンが返される。

- UID/UPW が不正な場合

ステータスコード：「403」

- その他エラーなど

ステータスコード：「500」

## 3. ログイン

UID/UPW が正しいかを確認し、セッションを開始します。

### Point

- ログインしてセッションを使用する場合は「2 認証トークンの取得」は不要です。
- 履歴画面に SSO する場合は、セッションが必要です。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/login

### リクエストヘッダ

なし。

### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### UID

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UID を指定する。

#### UPW

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UPW を指定する。

### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。
- UID と UPW については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ レスポンス

#### ● UID/UPW が正しい場合

ステータスコード：「200」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
result	boolean	true 「Set-Cookie: JSESSIONID」レスポンスヘッダでセッションを示す値が返される。

#### ● UID/UPW が不正な場合

ステータスコード：「403」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
message	文字列	「UID または UPW が間違っています。」

- その他エラーなど  
ステータスコード : 「500」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ログイン中にエラーが発生しました。」



## 4. ログアウト

ログインで開始したセッションを破棄します。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/logout

### リクエストヘッダ

Cookie

「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

- パラメータ  
なし。

- レスポンス

ステータスコード : 「200」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
result	boolean	true

## 5. ワーク情報の取得

テナントに既存で実行できるだけの設定がなされているワークの一覧を返します。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/conf/works

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

#### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### auth

X-OPRO-D3W-Auth ヘッダの代替。

#### UID

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UID を指定する。

#### UPW

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UPW を指定する。

#### with-unready

このパラメータが指定され、その値が false 以外の場合、実行できるだけの設定がなされていないワークも返す。

#### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。
- UID と UPW については「1 はじめに」を参照してください。

#### Point

- 以下、いずれかの場合
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダか auth パラメータでトークンが指定されていない
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダか auth パラメータで指定されたトークンが不正（期限切れ含む）
  - セッションが存在しない
 この場で認証トークンを発行するために UID/UPW を指定できます。
- ここで UID/UPW を指定すれば、事前の「2 認証トークンの取得」や「3 ログイン」は不要です。
- この場で UID/UPW を指定した場合、X-OPRO-D3W-Auth レスポンスヘッダで発行されたトークンが返されます。セッションは開始されません。

## ■ レスポンス

## ● 正常時

ステータスコード : 「200」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
works	配列 (オブジェクト)	
key	文字列	ワークの一意キー
name	文字列	ワークの名称 (一意)
note	文字列	ワークのメモ
ready	bool	ワークが実行できるだけの設定がなされている場合、true
parameters	配列 (文字列)	ワークで定義されたリクエストパラメータの配列
datasource	オブジェクト	
fields	配列 (文字列)	ワークのデータソースで定義された項目名の配列

- トークンが不正 (トークンが間違っている、トークンの期限切れなど) 、またはセッションが存在しない、  
または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード : 「403」
- その他エラーなど  
ステータスコード : 「500」

## 6. ワークの検査

ワークを実行できるだけの設定がなされているかを検査します。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/tenant/conf/works/ready

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

#### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### auth

X-OPRO-D3W-Auth ヘッダの代替。

#### UID

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UID を指定する。

#### UPW

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UPW を指定する。

#### work

ワークの名称。ワークを特定する。

work が指定されていることが必要。

#### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。
- UID と UPW については「1 はじめに」を参照してください。

#### Point

- 以下、いずれかの場合
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダか auth パラメータでトークンが指定されていない
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダか auth パラメータで指定されたトークンが不正（期限切れ含む）
  - セッションが存在しない
 この場で認証トークンを発行するために UID/UPW を指定できます。
- ここで UID/UPW を指定すれば、事前の「2 認証トークンの取得」や「3 ログイン」は不要です。
- この場で UID/UPW を指定した場合、X-OPRO-D3W-Auth レスポンスヘッダで発行されたトークンが返されます。セッションは開始されません。

## ■ レスポンス

- 指定されたワークが存在し、実行できるだけの設定がなされている場合  
ステータスコード：「204」
- トークンが不正（トークンが間違っている、トークンの期限切れなど）、またはセッションが存在しない、  
または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード：「403」

- work が指定されていない場合  
ステータスコード：「400」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「不正なリクエストです。」

- work で指定されたワークが存在しない場合  
ステータスコード：「404」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワークが見つかりません。」

- work で指定されたワークが実行できるだけの設定がなされていない場合  
ステータスコード：「503」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワーク（{0}）の設定が不十分です。」  または 「ワーク（{0}）またはワークが参照するサービスの設定が不十分です。」
detail	配列 (文字列)	不十分な箇所の配列

- その他エラーなど  
ステータスコード：「500」

## 7. 非 multipart での実行要求

非 multipart で CSV の内容を POST して、ワークの実行を要求します。  
ワークの実行は、受け付け後に非同期で行われます。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/action/

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

#### Point

- エンドポイント URL の {tenant} については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### auth

X-OPRO-D3W-Auth ヘッダの代替。

#### UID

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UID を指定する。

#### UPW

契約時に当社が発行する OPROARTS 認証情報の UPW を指定する。

#### work

ワークの名称。ワークを特定する。

work は必ず指定されていることが必要。

#### aid

外部アプリケーション ID。リクエスト元の何らかの情報を履歴に保存するためのもの。

#### data

CSV の内容。

#### ワーク、またはサービスで設定したパラメータ

D3worker で設定したパラメータ（{xxx}のようなもの）。

上記の他に、サービスが要求するリクエストパラメータもあり得る。

#### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。
- UID と UPW については「1 はじめに」を参照してください。

#### Point

- 以下、いずれかの場合
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダが auth パラメータでトークンが指定されていない
  - X-OPRO-D3W-Auth ヘッダが auth パラメータで指定されたトークンが不正（期限切れ含む）
  - セッションが存在しない
 この場で認証トークンを発行するために UID/UPW を指定できます。
- ここで UID/UPW を指定すれば、事前の「2 認証トークンの取得」や「3 ログイン」は不要です。
- この場で UID/UPW を指定した場合、X-OPRO-D3W-Auth レスポンスヘッダで発行されたトークンが返されます。セッションは開始されません。

## ■ レスポンス

- 正常に要求を受け付けた場合

ステータスコード：「200」

受け付けたジョブを示す JSON

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
process_id	文字列	受け付けたジョブを特定する ID
user_id	文字列	認証に使用した UID
work_name	文字列	ジョブに使用したワークの名称
subject	文字列	ジョブに使用したワークの件名
application_id	文字列	実行要求時に指定された AID パラメータ値
create_date	文字列	実行要求を受け付けた日時。W3CDTF 形式
update_date	文字列	実行要求を受け付けた日時。W3CDTF 形式

- トークンが不正（トークンが間違っている、トークンの期限切れなど）、またはセッションが存在しない、または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード：「403」

- work が指定されていない場合

ステータスコード：「400」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「不正なリクエストです。」

- work で指定されたワークが存在しない場合

ステータスコード：「404」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワーク（{0}）が見つかりません。」

- work で指定されたワークが実行できる設定がなされていない場合

ステータスコード：「503」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワーク（{0}）の設定が不十分です。」 または 「ワーク（{0}）またはワークが参照するサービスの設定が不十分です。」
detail	配列 (文字列)	不十分な箇所の配列

- data で指定された CSV が、非テキストであるなどの場合

ステータスコード：「400」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「指定されたデータは CSV ではありません。」

- リクエストの内容のサイズが、規定のサイズを超えている場合

ステータスコード：「413」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「リクエストデータが大きすぎます。({0} > {1} bytes)」

- リクエストの一項目のサイズが、規定のサイズを超えている場合

ステータスコード：「413」

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「パラメータが大きすぎます。({0}: {1} > {2} bytes)」

- その他エラーなど

ステータスコード：「500」



## 8. multipart での実行要求

multipart/form-data で CSV ファイルをアップロードまたは CSV の内容を POST して、ワークの実行を要求します。

### Point

- リクエストのコンテンツタイプに、「multipart/form-data」を設定します。

multipart の場合は、パラメータによる auth の指定や、UID/UPW の指定はできず、リクエストヘッダでのみ認証情報を受け取るため、必ず事前の「2 認証トークンの取得」または「3 ログイン」が必要です。

ワークの実行は、受け付け後に非同期で行われます。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/action/

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

## ■ パラメータ

### work

ワークの名称。ワークを特定する。

work は必ず指定されていることが必要。

### aid

外部アプリケーション ID。リクエスト元の何らかの情報を履歴に保存するためのもの。

### data

CSV ファイルまたは CSV の内容。

### ワーク、またはサービスで設定したパラメータ

D3worker で設定したパラメータ（{xxx}のようなもの）。

上記の他に、サービスが要求するリクエストパラメータもあり得る。

## ■ レスポンス

- 正常に要求を受け付けた場合

ステータスコード：「200」

受け付けたジョブを示す JSON

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
process_id	文字列	受け付けたジョブを特定する ID
user_id	文字列	認証に使用した UID
work_name	文字列	ジョブに使用したワークの名称
subject	文字列	ジョブに使用したワークの件名

項目	データ型	内容
application_id	文字列	実行要求時に指定された AID パラメータ値
create_date	文字列	実行要求を受け付けた日時。W3CDTF 形式
update_date	文字列	実行要求を受け付けた日時。W3CDTF 形式

- トークンが不正（トークンが間違っている、トークンの期限切れなど）、またはセッションが存在しない、または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード：「403」

- work が指定されていない場合  
ステータスコード：「400」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「不正なリクエストです。」

- work で指定されたワークが存在しない場合  
ステータスコード：「404」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワーク（{0}）が見つかりません。」

- work で指定されたワークが実行できる設定がなされていない場合  
ステータスコード：「503」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「ワーク（{0}）の設定が不十分です。」  または  「ワーク（{0}）またはワークが参照するサービスの設定が不十分です。」
detail	配列 (文字列)	不十分な箇所の配列

- data で指定された CSV が、非テキストであるなどの場合  
ステータスコード：「400」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「指定されたデータは CSV ではありません。」

- リクエストの内容のサイズが、規定のサイズを超えている場合  
ステータスコード : 「413」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「リクエストデータが大きすぎます。({0} > {1} bytes)」

- リクエストの一項目のサイズが、規定のサイズを超えている場合  
ステータスコード : 「413」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「アップロードされたデータが大きすぎます。({0}{{1}}: {2} > {3} bytes)」

- その他エラーなど  
ステータスコード : 「500」

## 9. ワーク実行履歴の取得

ジョブを特定する ID（実行要求のレスポンスから得られる process\_id）で、ワークの実行履歴（実行状況）を取得します。

実行履歴の取得では、パラメータによる auth の指定や、UID/UPW の指定はできず、リクエストヘッダでのみ認証情報を受け取るため、必ず事前の「2 認証トークンの取得」または「3 ログイン」が必要です。

### エンドポイント

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/history/

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

#### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### id

取得するジョブを特定する ID。実行要求のレスポンスから得られる process\_id。

カンマ区切りで複数の ID を指定可能。指定された ID のうち、規定の件数までの履歴が、配列でレスポンスされる。

#### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。

### ■ レスポンス

#### ● 正常時

ステータスコード：「200」

ジョブの履歴を示す JSON

複数の ID が指定された場合は、下記の配列がレスポンスされる。

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
process_id	文字列	ジョブを特定する ID。
user_id	文字列	ジョブを実行した UID。
work_name	文字列	ジョブに使用したワークの名称。
subject	文字列	ジョブに使用したワークの件名。
application_id	文字列	実行要求時に指定された AID パラメータ値。
envelope_count	数値	ジョブで実行されたエンベロープの数。

項目	データ型	内容
status	文字列	<p>ジョブの状況。非 null はジョブの処理が完了していることを示す。 COMPLETED (正常終了) FAILED (一つ以上のエンベロープが FAILED)</p> <p>例外の内容 null (実行中) COMPLETED は、全てのエンベロープの処理が完了した状態を示す。だが可監視な配送の完了は示していない。</p>
create_date	文字列	実行要求を受け付けた日時。W3CDTF 形式。
update_date	文字列	履歴がアップデートされた日時。W3CDTF 形式。
envelopes	配列 (オブジェクト)	<p>ジョブで実行されたエンベロープの履歴の配列。 エンベロープが実行されなかった場合はこのプロパティが出力されない場合もある。</p>
envelope_id	文字列	エンベロープ履歴の ID。
envelope_order	数値	ジョブ内でのこのエンベロープの順番。
envelope_value	文字列	エンベロープがアクティブ化された値。
envelope_name	文字列	エンベロープの名称。
subject	文字列	エンベロープの件名。
attr1	文字列	エンベロープの属性 1。
attr2	文字列	エンベロープの属性 2。
attr3	文字列	エンベロープの属性 3。
attr4	文字列	エンベロープの属性 4。
attr5	文字列	エンベロープの属性 5。
status		<p>エンベロープの状況。 非 null はエンベロープの処理が完了していることを示す。 COMPLETED (正常終了) FAILED (文書生成、保管、配送要求のいずれかが失敗) null (実行中)</p> <p>COMPLETED は、全ての文書生成、保管、配送要求が完了した状態を示す。だが可監視な配送の完了は示していない。</p>

項目		データ型	内容
envelopes	document_count	数値	エンベロープで作成された文書の数。
	delivery_count	数値	エンベロープで実行された配送の数。
	document_status	文字列	全ての文書生成処理の状況のまとめ。非 null は全ての文書生成処理が終了していることを示す。 COMPLETED (全ての文書生成が正常完了 (または文書生成不要)) FAILED (一つ以上の文書生成が失敗)
	storage_status	文字列	保管処理の状況。非 null は保管処理が終了していることを示す。 ただし、document_status FAILED の場合は、保管処理は行われず、値は null。 COMPLETED (正常終了 (または保管不要)) FAILED (保管が失敗)
	delivery_status	文字列	全ての配送処理の状況のまとめ。非 null は全ての配送要求が終了していることを示す。 ただし、document_status または storage_status が FAILED の場合は、配送処理は行われず、値 null。 SUPERVISING (一つ以上の配送を監視中) COMPLETED (全ての配送が正常完了 (または配送不要)) FAILED (一つ以上の配送が失敗)
	create_date	文字列	エンベロープの実行が開始された日時。W3CDTF 形式。
	update_date	文字列	エンベロープの履歴がアップデートされた日時。W3CDTF 形式。
	summed_status	文字列	status、document_status、storage_status、delivery_status のまとめ。 COMPLETED (全ての処理が正常終了) FAILED (いずれかの処理が失敗) null (いずれかの処理が実行中) 可監視な配送の状況も示している。
	storage	オブジェクト	エンベロープに含まれる保管の履歴。
	service_name	文字列	保管サービスの名称。
	service_id	文字列	連携先のサービスが返却した ID。

項目		データ型	内容
envelopes	storage	status	文字列 保管の状況。 COMPLETED（正常終了） エラーの内容
		create_date	文字列 保管が行われた日時。 W3CDTF 形式。
		update_date	文字列 保管履歴がアップデートされた日時。 W3CDTF 形式。
		summed_status	文字列 status と同じ。

- トークンが不正（トークンが間違っている、トークンの期限切れなど）、またはセッションが存在しない、または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード：「403」

- id が指定されていない場合  
ステータスコード：「400」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「不正なリクエストです。」

- id で指定されたジョブが存在しない場合  
ステータスコード：「404」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「履歴が見つかりません。」

- その他エラーなど  
ステータスコード：「500」

## 10. エンベロープ履歴の取得

ジョブのエンベロープを特定する ID（ワーク実行履歴に含まれる `envelope_id`）で、エンベロープの実行履歴（実行状況）を取得します。

実行履歴の取得では、パラメータによる `auth` の指定や、UID/UPW の指定はできず、リクエストヘッダでのみ認証情報を受け取るため、必ず事前の「2 認証トークンの取得」または「3 ログイン」が必要です。

### エンドポイント

`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{tenant}/history/envelope`

### リクエストヘッダ

X-OPRO-D3W-Auth

トークンで認証を行う場合は、「2 認証トークンの取得」で取得したトークンを指定する。

Cookie

セッションを使う場合は、「3 ログイン」が返したクッキーを指定する。

### Point

- エンドポイント URL の `{tenant}` については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

#### id

取得するエンベロープ履歴を特定する ID。ワーク実行履歴に含まれる `envelope_id`。

カンマ区切りで複数の ID を指定可能。指定された ID のうち、規定の件数までの履歴が、配列でレスポンスされる。

#### pid

取得するエンベロープ履歴が属するジョブを特定する ID。ワーク実行履歴に含まれる `process_id`。

カンマ区切りで複数の ID を指定可能。id パラメータ値との対応付けは順序で行われる。

### Point

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。

### ■ レスポンス

#### ● 正常時

ステータスコード：「200」

ジョブの履歴を示す JSON

複数の ID が指定された場合は、下記の配列がレスポンスされる。

Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
<code>process_id</code>	文字列	ジョブを特定する ID。
<code>envelope_id</code>	文字列	エンベロープ履歴の ID。
<code>envelope_order</code>	数値	ジョブ内でのこのエンベロープの順番。
<code>envelope_value</code>	文字列	エンベロープがアクティブ化された値。
<code>envelope_name</code>	文字列	エンベロープの名称。
<code>subject</code>	文字列	エンベロープの件名。



項目	データ型	内容
attr1	文字列	エンベロープの属性 1。
attr2	文字列	エンベロープの属性 2。
attr3	文字列	エンベロープの属性 3。
attr4	文字列	エンベロープの属性 4。
attr5	文字列	エンベロープの属性 5。
status		エンベロープの状況。非 null はエンベロープの処理が完了していることを示す。 COMPLETED (正常終了) FAILED (文書生成、保管、配送要求のいずれかが失敗) null (実行中)  COMPLETED は、全ての文書生成、保管、配送要求が完了した状態を示す。だが可監視な配送の完了は示していない。
document_count	数値	エンベロープで作成された文書の数。
delivery_count	数値	エンベロープで実行された配送の数。
document_status	文字列	全ての文書生成処理の状況のまとめ。非 null は全ての文書生成処理が終了していることを示す。 COMPLETED (全ての文書生成が正常完了 (または文書生成不要) ) FAILED (一つ以上の文書生成が失敗)
storage_status	文字列	保管処理の状況。非 null は保管処理が終了していることを示す。 ただし、document_status が FAILED の場合は、保管処理は行われず、値は null。 COMPLETED (正常終了 (または保管不要) ) FAILED (保管が失敗)
delivery_status	文字列	全ての配送処理の状況のまとめ。非 null は全ての配送要求が終了していることを示す。 ただし、document_status または storage_status が FAILED の場合は、配送処理は行われず、値は null。 SUPERVISING (一つ以上の配送を監視中) COMPLETED (全ての配送が正常完了 (または配送不要) ) FAILED (一つ以上の配送が失敗)
create_date	文字列	エンベロープの実行が開始された日時。W3CDTF 形式。
update_date	文字列	エンベロープの履歴がアップデートされた日時。W3CDTF 形式。

項目	データ型	内容
summed_status	文字列	status、document_status、storage_status、delivery_status のまとめ。 COMPLETED (全ての処理が正常終了) FAILED (いずれかの処理が失敗) null (いずれかの処理が実行中) 可監視な配送の状況も示している。
storage	オブジェクト	エンベロープに含まれる保管の履歴。
service_name	文字列	保管サービスの名称。
service_id	文字列	連携先のサービスが返却した ID。
status	文字列	保管の状況。 COMPLETED (正常終了) エラーの内容
create_date	文字列	保管が行われた日時。W3CDTF 形式。
update_date	文字列	保管履歴がアップデートされた日時。 W3CDTF 形式。
summed_status	文字列	status と同じ。
documents	配列 (オブジェクト)	エンベロープに含まれる文書化の履歴の配列。 文書化が行われなかった場合は、このプロパティが出力されない場合もある。
document_id	文字列	文書化履歴の ID。
document_order	数値	エンベロープ内でのこの文書化の順番。
service_name	文字列	文書化サービスの名称。
service_id	文字列	連携先のサービスが返却した ID。
document_name	文字列	文書名。
mimetype	文字列	文書ファイルの MIME タイプ。
page_count	数値	連携先のサービスが返却した文書ファイルのページ数。
document_size	数値	文書ファイルのサイズ。バイト。
deliverable	bool	ファイルが配送対象の場合に true。
status	文字列	文書化の状況。非 null は文書生成処理が終了していることを示す。 COMPLETED (正常終了) エラーの内容 null (実行中)
create_date	文字列	文書生成処理が開始された日時。 W3CDTF 形式。
update_date	文字列	文書生成処理が開始された日時。 W3CDTF 形式。
summed_status	文字列	status と同じ。

項目	データ型	内容
deliveries	配列 (オブジェクト)	エンベロープに含まれる配送の履歴の配列。 配送が行われなかった場合は、このプロパティが出力されない場合もある。
delivery_id	文字列	配送履歴の ID。
delivery_order	数値	エンベロープ内でのこの配送の順番。
service_name	文字列	配送サービスの名称。
destination	文字列	配送先を示す。
service_id	文字列	連携先のサービスが返却した ID。
present	数値	連携先のサービスが返却した進行中の番号。 ページ数など。
total	数値	連携先のサービスが返却した全体の数。 総ページ数など。
status	文字列	配送の状況。非 null は配送が終了していることを示す。 COMPLETED (正常終了) FAILED (失敗) エラーの内容 null (実行中) FAILED は、連携先のサービスが受け付けたが、その後の監視によって配送の失敗を検出した場合。 FAX の話中など。
failure_reason		失敗理由。status が FAILED の場合の、連携先のサービスが返却した理由。FAX の話中など。
delivery_date		連携先のサービスが返却した配送日時。 W3CDTF 形式。
create_date		配送処理が開始された日時。W3CDTF 形式。
update_date		配送履歴がアップデートされた日時。 W3CDTF 形式。
summed_status		status と failure_reason のまとめ。 COMPLETED (正常終了) エラーの内容か失敗理由 null (実行中)

- トークンが不正 (トークンが間違っている、トークンの期限切れなど)、またはセッションが存在しない、または UID/UPW が不正な場合  
ステータスコード: 「403」
- id が指定されていない場合  
ステータスコード: 「400」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「不正なリクエストです。」

- id で指定されたジョブが存在しない場合  
ステータスコード：「404」  
Content-Type: application/json

項目	データ型	内容
error	文字列	「履歴が見つかりません。」

- その他エラーなど  
ステータスコード：「500」

## 11. 履歴の検索画面の表示

履歴の検索画面を表示します。

一般用の検索画面では、ログインしたユーザ自身の履歴のみが検索できます。

管理者用の検索画面では、ログインしたユーザが所属するテナントの全ての履歴を検索できます。

### 注意

- 一般ユーザが管理者用の検索画面に行っても、一般用にリダイレクトされます。現状では全てのユーザが管理者扱いとなっています。

### エンドポイント

https://d3w.ap.opoarts.com/d3w/a/{tenant}/history/ (一般用)

https://d3w.ap.opoarts.com/d3w/a/{tenant}/history/admin (管理者用)

※「/d3w/api/tenant/」ではなく、「d3w/a/{tenant}/」であることに注意。

### リクエストヘッダ

Cookie

「3 ログイン」が返したクッキーを指定した場合は、ログイン画面は表示されない。

### Point

- エンドポイント URL の{tenant}については「1 はじめに」を参照してください。

### ■ パラメータ

検索条件に該当する項目が存在する場合、指定された値があらかじめセットされた状態で表示される。

#### user\_id

実行要求した UID

#### process\_id

ジョブを特定する ID

#### envelope\_id

エンベロープの ID

#### envelope\_value

エンベロープ値

#### envelope\_name

エンベロープの名称

#### subject

エンベロープの件名

#### attr1,attr2,attr3,attr4,attr5

エンベロープの属性 1~5

#### work\_name

ワークの名称

#### process\_subject

ワークの件名

#### application\_id

実行要求時に指定された外部アプリケーション ID

**create\_date\_from\_d,create\_date\_from\_t**

エンベロープ単位の履歴の作成日時範囲の始点

\_d は日付「yyyy/MM/dd」

\_t は時分「HH:mm」

**create\_date\_to\_d,create\_date\_to\_t**

エンベロープ単位の履歴の作成日時範囲の終点

\_d は日付「yyyy/MM/dd」

\_t は時分「HH:mm」

**update\_date\_from\_d,update\_date\_from\_t**

エンベロープ単位の履歴の更新日時範囲の始点

\_d は日付「yyyy/MM/dd」

\_t は時分「HH:mm」

**update\_date\_to\_d,update\_date\_to\_t**

エンベロープ単位の履歴の更新日時範囲の終点

\_d は日付「yyyy/MM/dd」

\_t は時分「HH:mm」

**status**

エンベロープ単位の履歴の状況。「run」（処理中）、「end」（完了）、「error」（エラー）のいずれか。

**Point**

- パラメータのエンコードについては「1 はじめに」を参照してください。

D3Worker 操作マニュアル

別冊（WebAPI 編）

発行元 株式会社オプロ